

# 特定非営利活動法人岩手ボランティア育成会

## 第22回長澤基金助成 募集要項

### 1 助成対象者

市町村ボランティア連絡協議会（ボランティア連絡協議会が無い市町村においては社会福祉協議会）に登録し、岩手県内で福祉ボランティア活動を行う団体であり、本助成において所在地の市町村社会福祉協議会から推薦のあった団体とします。

また、連絡先・責任者等が明確であることとし、申請活動の遂行能力、資金の管理能力等がないと認められる場合は、助成の対象としません。

なお、NPO法人、町内会・自治会等は対象となりませんので、申請はご遠慮ください。

### 2 助成対象活動

助成対象者が岩手県内で行う次のボランティア活動。

- (1) 高齢者の福祉向上に寄与する活動
- (2) 心身障がい者(児)の福祉向上に寄与する活動

### 3 助成金の対象経費

- (1) 当該活動に必要な備品の購入及び整備に要する費用
- (2) 当該活動を行うために緊急に必要な臨時的経費

### 4 助成額・助成期間

- (1) 助成額

**1万円～10万円**（対象活動費の範囲内で助成）

但し、複数のボランティア団体が市町村社会福祉協議会と共同で助成対象活動を行う場合、10万円を超える申請も助成対象とする場合があります。

- (2) 助成期間

原則として**1年間**とします。

### 5 応募方法

当基金所定の「申請書」に必要事項を記入し、当該市町村社会福祉協議会から推薦を得たうえで、応募期間内に、後記11に記載の提出先に提出してください。なお、活動内容の参考資料があれば、「申請書」に添付してください。

## 6 応募期間

### (1) 令和4年4月14日(木)～令和4年5月13日(金)

ただし、郵送による申請は、5月13日(金)消印有効

### (2) 緊急性がある場合は随時受付

## 7 選考の方法

書類審査のうえ岩手ボランティア育成会理事会の審議を受けて、本会が受給者及び助成金額を決定します。

## 8 助成金の給付

助成金の給付は一括給付します。

### (1) 助成決定後2ヶ月以内

### (2) 緊急性がある場合は随時

## 9 報告義務

受給者は、対象活動終了後、助成事業完了報告書を本会に提出しなければならない。

## 10 助成金の返還義務

次の場合は助成金の全額又は一部を返還しなければならない。

### (1) 偽りその他不正な手段により助成金の給付を受けたことが判明したとき。

### (2) 助成金をその目的以外のために使用したとき。

### (3) 助成金による活動を中止したとき、または実行できなかったとき。

## 11 応募窓口・申請書提出先

〒020-0836 盛岡市津志田西1丁目19-7 加藤方

特定非営利活動法人 岩手ボランティア育成会

特定非営利活動法人岩手ボランティア育成会  
第 22 回長澤基金助成 助成申請に係る補足説明資料

1 これまで過去 21 年間の実施概要

基金助成事業は、平成 13 年から開始し、令和 3 年度までの 21 年間に於いて、延べ 584 事業について 4,870 万円の要望を受け、延べ 540 事業に対し 3,371 万円を助成しており、申請事業の約 92%、申請額の約 69%の助成金を贈呈しております。

2 令和 4 年度実施内容

(1) 募集受付期間及び推薦団体コメント記入について

令和 4 年 4 月 14 日(木)～令和 4 年 5 月 13 日(金)

申請書には、市町村社会福祉協議会の推薦欄があり、未記入の場合、助成対象外となりますことを予め承願いたします。

(2) 募集要項等送付時期(予定)及び送付先

令和 4 年 4 月中旬に各市町村の社協へ送付します。

(3) 助成内容

① 助成対象活動

岩手県内で市町村ボランティア連絡協議会（ボランティア連絡協議会が無い市町村においては社会福祉協議会）に登録するボランティア団体が行う高齢者福祉及び障がい者（児）福祉向上に寄与するボランティア活動を対象とします。

② 助成限度額

最高 10 万円を上限としていますが、基金の造成状況、寄付金の収納状況により、応募団体多数の場合、応募した事業内容を査定し、決定額を減額する場合がありますことを予めご了承承願いたします。

但し、複数のボランティア団体が市町村社会福祉協議会と共同で助成対象活動を行う場合、10 万円を超える申請も助成対象とする場合がありますこと。

③ 助成期間の設定

原則として、1 年間とします。

④ その他

詳細内容は、同封の助成規程及び第 22 回長澤基金助成募集要項を参照願います。

個々のボランティア団体の助成金申請は様式 1 と様式 2 を使用して下さい。

複数のボランティア団体が市町村社会福祉協議会と共同で事業を実施する助成申請は様式 2 と様式 3 を使用して下さい。

(4) 申請内容審査時期、助成金贈呈時期

審査予定＝令和 4 年 5 月

贈呈式開催予定＝令和 4 年 6 月中旬～下旬（土曜日又は日曜日）

(5) 助成事業実施後の留意点

① 事業報告提出時期について

令和 5 年 3 月末（年度末をもって完了する事業については事業完了後 1 月以内）までに必ず助成事業の報告書及び対象経費の領収証を提出願います。

② 事業報告提出内容について

（様式）長澤基金助成事業完了報告書により報告願います。

様式1

## 第22回長澤基金助成「ボランティア団体助成金申請書」

受付日		受付番号	
-----	--	------	--

### 1. 申請者(団体)

①申請者名(団体名)		②代表者氏名	
③※文書送付先を記入 ※個人宅の場合は氏名まで	〒		
④連絡先電話番号		⑤FAX番号	
⑥会員数(個人会員数または構成団体数)		⑦E-mailアドレス	
⑧申請担当者(照会先)	※上記③の連絡先と異なる場合記入	⑨担当者電話番号	※上記④の連絡先と異なる場合記入

### 2. 助成金の希望額及び提出書類

(1) 助成金の希望額 \_\_\_\_\_ 万円

#### (2) 提出書類

- ① 様式2の長澤基金・助成申請用収支計画書(助成を受けて行う事業の収支予算案を作成して下さい)
  - ② 事業計画・予算書(団体の1年間の予算と他から受ける補助・助成の状況が分かる資料を添付願います)
  - ③ 会則(会則がない場合は、団体の活動目的または過去の活動実績資料で代用可能です)
  - ④ 活動実績資料(申請者・団体の活動実績を紹介する資料等を添付願います)
- ※その他審査に必要な書類がある場合は別途提出いただくことがあります。

### 3. 他の助成金等の活用状況(決定済み、申請中、対象外等活用の経過を記入して下さい)

### 4. 特記事項(事業の必要性、アピールポイントや効果等を記入して下さい)

連絡先 市町村社会福祉協議会名	担当者氏名	連絡先電話番号

【市町村社会福祉協議会の推薦記入欄】

様式 2

第 22 回長澤基金助成「ボランティア団体助成 収支予算書」

申請団体名	
-------	--

収入の部

(単位：円)

項 目	金 額	備 考 欄
長澤基金助成金		
その他の助成金等		
自己資金		
その他		
収入合計	①	

※自己資金及びその他の欄は財源が分かるように書いて下さい〔例示〕会員の会費、預金利息、参加費等

支出の部

(単位：円)

項 目	金 額	備 考 欄
支出合計	②	

【留意事項】

- ① 支出の項目の欄は、下記の項目例示に従って支出予定額を分類、合算した合計額を書いて下さい。
- ② 収入と支出の合計①と②の額は同額になるように積算して下さい。
- ③ 備考欄には、分かる範囲で金額を積算した説明を書いて下さい。

【支出項目例示】備品購入費、修繕費、謝金、賃借料、印刷費、その他

- ④ 詳細な積算資料を別途作成している場合、添付して下さい。様式は問いません。

様式 3

## 第 22 回長澤基金助成 ボランティア共同事業助成申請書

受付日		受付番号	
-----	--	------	--

### 1 申請者

①申請代表ボランティア団体名		②会長名	
③代表者住所	〒		
④連絡先電話番号		⑤FAX番号	
⑥担当者役職・氏名			

### 2 申請事業概要

申請共同事業名			
申請事業費	助成申請額	円	※別紙 2 の収支計画書を必ず添付して下さい
事業予定期間	箇月	事業期間(	年 月～ 年 月(予定)
市町村ボランティア連絡協議会の組織化の状況	①組織化(有・無)	②構成団体数 _____ 団体	

### 3 具体的な事業内容

応募する事業の目的	
応募する事業の具体的な内容	
事業実施の年度別事業計画	
摘要	

用紙の枠内では説明が不足と思われる場合、別紙で詳細な説明を行うようにして下さい。様式は問いません。

様式 2 の長澤基金・助成申請用収支計画書に助成を受けて行う事業の収支予算案を作成して下さい